

北区

普段何気なく目にする、私たちに安らぎや癒やしを与えてくれる地域の小さな花。

その花は、住みよいまちにするために活動している地域の人たちによって植えられたものだというところをご存じでしょうか？

今回はその活動の中でも、小学生とともにに行っている美化活動の様子と、活動を通して子どもたちに伝えたい思いを紹介します。



地域の人たちとの交流は何よりの勉強です

地域の人たちと花植え
 幌北小学校では、毎年地域の住民との交流事業を行っています。協力しているのは、日赤奉仕団幌北分団のボランティアの方々。小学生と一緒に、同校周辺の道路脇にある升花壇に、マリーゴールドやベゴニアなど、色鮮やかな花を植えています。

花植えで地域交流！

どのグループもすぐに打ち解け、仲良くなっていました。きれいな花には不思議な力があるようです。

この様子をうれしそうに見守る福田信一校長。「みんなにとっては貴重な体験です」と話します。同奉仕団の一人も「花を植えている小学生の様子はとても楽しそう。私たちも元気をもらえます。この活動に参加してよかったと思いますね」と笑顔です。

自分たちで住みよく

「より住みよいまちを自分の手でつくる、そんな気持ちを持った大人に育ってほしいんです」と福田校長。また花植えをした児童の一人は「いつもは見落とされていた、まちに咲く花にも気が付くようになりました」と感想を話していました。まちの花をより身近に感じ

こんな活動も!

世代間交流フラワーネット事業

白楊小学校と地域団体が協働で花を植えながら世代間交流を図る事業。今年も北区役所周辺の升花壇にたくさんの花を植えました。参加した小学生は地域の人たちに教わりながら、楽しそうに花を植えていました。



るようになった子どもたち。「自分たちでまちを住みよく」という思いを胸に、今日も花に水をやりま

